

令和5年7月5日

発 言 者	発 言 要 旨
佐藤（文）委員	<p>庄内地域初の県立中高一貫校となる致道館中学・高等学校について、床接着剤のアスベスト除去費用が補正予算に計上されているが、全体の工事が遅れる等の影響はあるのか。また、施設整備の進捗状況と補正額を加えた総事業費はどうか。</p>
施設整備主幹	<p>鶴岡南高等学校校舎部分の進捗率は、1か月程度の遅れが生じている。しかし、外部工事を先に着手するなど工程の調整や工夫を行うことで、7月中には、遅れの大部分は取り戻せる見込みである。鶴岡北高等学校校舎部分については、遅れは生じていない。全体として工期内の完了に影響はないものと考えており、現時点の施設整備に係る概算の総事業費は総額でおよそ38億6,600万円である。</p>
佐藤（文）委員	<p>増築もあったものの、改修としてはかなりの高額な総事業費であると感じる。この事業の交付税や補助金等の財源構成はどのようになっているか。また、県の財政負担はどうか。</p>
施設整備主幹	<p>基本的に、高等学校は産業高等学校以外、国の交付金の対象外であるため、一般財源と県債により整備を行うことになる。改築の場合、交付税措置のある県債の活用はできないが、既存施設の長寿命化を図る改修事業に関しては、令和4年度から8年度までの限定で、公共施設等適正管理推進事業債の活用により、50%が交付税措置される。</p> <p>結果、県債が26億7,000万円、一般財源が11億6,000万円、交付税措置分として約4億円といった財源構成となる。中学部分のエアコンの整備に関しては、国庫補助の対象となり、交付金約4,500万円を見込んでいます。</p>
佐藤（文）委員	<p>県立高校の再編整備計画に基づき、令和6年度に新庄神室産業高等学校に商業科を設置、7年度には米沢工業、米沢商業高等学校を統合して、米沢産業高等学校（仮称）を開校予定、8年度には新庄北高、新庄南高等学校を統合して、新庄新高等学校（仮称）を開校予定となっているが、現在の進捗状況はどうか。また各学校の校舎はどのような設備となるのか。</p>
高校未来創造室長	<p>来年度設置する新庄神室産業高等学校の商業科については、企業会計や原価計算、経営分析等、ビジネス展開に必要な幅広い科目を設ける。</p> <p>米沢産業高等学校（仮称）については、令和5年度4月に開校準備委員会を設置して、7年度開校に向けた準備を進めていく予定である。</p> <p>新庄新高等学校（仮称）については、教育課程の編成に向けた検討を中心に行っており、併せて制服や部活動の設置等について今年度中の決定に向け検討を進めている。施設については、来年度、基本設計及び実施設計を行う予定である。</p>
佐藤（文）委員	<p>私は新庄市出身であるが、地元の方の話では、新庄北高等学校の校舎の改修では古すぎて何年ももたないだろうという話も出ている。設備があまり整っていないのであれば、生徒たちは新庄の学校ではなく、山形市内の人気の学校に流れてしまうのではと懸念している。今後、校舎の建て替えや致道館中学・高等学校と同等レベルの改修を行う予算は確保できるの</p>

発 言 者	発 言 要 旨
施設整備主幹	か。
佐藤（文）委員	<p>現段階で回答することは難しいが、地元の方や学校の要望等をしっかり聞きしながら検討していきたい。</p>
佐藤（文）委員	<p>県立高等学校の普通科について、魅力アップや活性化に向けてどのような取組みを行っているか。</p>
高校教育課長	<p>県教育委員会では、進学重点校として 12 校を指定しており、学力向上推進事業の中で各校がそれぞれ独自の取組みを行っている。</p>
佐藤（文）委員	<p>また、医学部医学科を志望する又は関心がある生徒を対象にした医新塾を開催しており、多くの進学希望の生徒が参加している。</p>
佐藤（文）委員	<p>現在の県立高校再編整備基本計画は令和 6 年度で終了となるが、7 年度からの計画策定はどのように進めていくのか。</p>
高校未来創造室長	<p>令和 7 年度以降の次期高等学校再編整備の基本的な方向性を検討するために、今年度、外部有識者による検討委員会を設置し、9 月に第 1 回の検討委員会を開催予定である。その後、計 4 回の検討委員会を経て、提出される報告書に基づき、6 年度中に次期高等学校の再編整備計画の基本方針を作成する予定となる。</p>
佐藤（文）委員	<p>高等学校教育の充実のためには、高校再編整備基本計画が指針になるのでしっかりとしたものを作ってほしい。</p>
松井委員	<p>今年 5 月、鶴岡市の山形自動車道のトンネルの中で乗用車同士が正面衝突する交通事故が発生し、社会的反響も大きかったと記憶している。高速道路における交通事故防止対策にどのように取り組んでいるか。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>幹線道路における悪質危険な交通違反の取締りや警戒活動の強化、関係機関団体と連携した交通事故防止意識の高揚、また、道路管理者と高速道路のトンネル事故防止対策会議や重大交通事故防止対策会議を開催するなど、道路管理者とも連携しながら交通事故防止を図っている。</p>
松井委員	<p>ドライバーの意識と道路環境が重要だと考えるため、引き続き対策をお願いしたい。県内の高速道路上における交通事故の発生状況やその特徴はどうか。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>高速道路等における平成 30 年から令和 4 年までの過去 5 年間の人身交通事故は、90 件 122 人、そのうち死亡事故は 2 件 2 人となっている。5 年 5 月末現在の確定値では、人身事故は 23 件 40 人、そのうち死亡事故は 3 件 5 人となっている。</p>
松井委員	<p>交通事故の特徴としては、車両相互の事故では追突事故が多く、車両単独の事故では道路工作物等への衝突が多いといった特徴が見られる。</p>
松井委員	<p>全国及び県内における、高速道路の殉職事案の発生状況や隊員の命を守るための訓練の状況はどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
交通指導課長	<p>全国における高速道路上での殉職事案は、平成 15 年からの統計で 4 件発生している。県内では平成元年に山形自動車道が開通して以来、発生していない。</p> <p>令和 4 年は高速隊の小隊単位での訓練を 62 回、5 年は 5 月末現在で 28 回、高速隊に転入した新隊員に対して 4 日間の基本訓練を実施し、また、東北管区内の各県高速隊と NEXCO パトロールとの合同受傷事故防止訓練にも参加している。</p>
松井委員	<p>県内における横断歩道での交通事故の発生状況及び事故の特徴はどうか。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>令和 4 年中の発生件数は 73 件、前年同期比で 12 件減少しており、そのうちの 2 件が死亡事故である。平成 30 年から令和 4 年までの過去 5 年間の発生件数は 472 件で、年平均は 94.4 件、そのうち死亡事故は 6 件で、年平均は 1.2 件となっている。</p> <p>横断歩道での交通事故の主な特徴は、事故原因の約 9 割が自動車運転者側の前方不注意や安全不確認による横断歩行者を見落とし、ごく少数であるが歩行者側の信号無視の交通違反、死傷者の約 3 割が高齢者であることが挙げられる。</p>
松井委員	<p>横断歩行者妨害として検挙された件数はどうか。</p>
交通指導課長	<p>令和 5 年は 5 月末現在で 559 件、前年同期比で 257 件減少している。</p> <p>過去 5 年間の検挙件数の推移は、平成 30 年から順次増加し、令和 2 年の 5,634 件をピークにその後減少に転じ、4 年は 1,975 件となっている。</p>
松井委員	<p>交通量が多い道路に横断歩道があると、高齢者の事故につながると感じるが、横断歩道の設置や撤去の考え方についてはどうか。</p>
交通規制課長	<p>横断歩道は、警察庁の交通規制の基準に基づいて設置している。場所ごとにその設置基準が設けられ、交通量及び横断歩行者が多い場所、沿道に多数の人が利用する公共施設等がある場所等、いずれかに該当する場所との基準がある。このようなことを総合的に勘案し、地域住民の要望等も踏まえて総合的に検討している。</p>
松井委員	<p>横断歩道の表示が非常に薄くなり、認識しづらい箇所が見受けられるが、塗り直しにかかる予算の状況はどうか。また、令和 5 年度の横断歩道の塗り直しの計画はどうか。</p>
交通規制課長	<p>令和 5 年度の横断歩道塗り直しの予算は、1 億 948 万 2 千円である。前年度中に計画を立て、優先度の高い箇所等を選定している。車両通行による磨耗や、冬季の除雪作業の影響により、塗り直しを必要とする箇所についてはその都度発注して対応している。</p>
松井委員	<p>ジェンダーレス制服が普及し始めているが、本県における状況はどうか。</p>
高校教育課長	<p>制服の導入検討、服装規定については、生徒が主体的に参画しながら、</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	男女別規定を撤廃するなどの状況が見られる。なお、令和6年度に開校を予定している致道館中学・高等学校においても、ジェンダーレス制服が導入される予定である。
五十嵐委員	対話型人工知能に係る小中高等学校向けのガイドラインが示され、文部科学省より全国の教育委員会に通知があったが、この通知を受けてどのように対応するのか。
義務教育課長	子どもたちが新しい技術である生成A Iとうまく付き合い、情報を適切に活用する能力を身に付けることができるよう、ガイドラインに基づき、各学校で準備を進めるとともに、市町村教育委員会等に対して適切に情報提供及び指導を行う予定である。
五十嵐委員	生成A Iの有効活用について研究し、教員の長時間労働是正を進めていただきたい。
教職員課長	働き方改革の視点で、効果的なものがあれば取り入れるということもあり得るかと思う。様々な情報を収集しながら、検討していきたい。
五十嵐委員	米沢養護学校の長井西置賜校が開校した。南長井駅や警察署、大型商店も近く、立地の良いところに開校できたと思っている。開校後の状況はどうか。
特別支援教育課長	在籍者数は中学部6名、高等部18名の計24名である。中高併置であり、行事や生徒会活動を合同で行い、中等部・高等部の生徒が互いに良い刺激になっている。また、長井南中学校の生徒との交流も行っている。作業学習では、コーヒー豆を焙煎し、販売を行う取組みも行っており、米沢養護本校と同様に、しっかりと実習場所を開拓し、近隣の良い環境を活用しながら、就労体験を積み重ねていきたい。
五十嵐委員	長井南中学校のグラウンドの一部を利用しているが、水はけが悪くぼこぼこしている等、環境は良くない。グラウンドの改修予定はどうか。
施設整備主幹	長井南中学校と使用する範囲を明示して、知事と長井市長で覚書を取り交わしている。今後グラウンドの整備の際には、お互い使用している部分を整備するということになると想定している。今回の整備に伴い必要となった長井南中学校の部活動関係の設備の撤去費用や整地費用については、県で負担している。
五十嵐委員	県内現地調査の際に、県立特別支援学校を訪問し、生徒が製作した商品を購入したが、完成度が高い商品なのに価格が安すぎると感じた。価格設定を見直し、正当な価格とすべきと考えるがどうか。
特別支援教育課長	価格については、製作に必要な材料代も含めて、諸経費や作業の見通しを考えながら決めている。売上は作業学習を継続するために必要な材料代に充てるという考えで進めてきた。作業意欲の向上という側面から各校の状況等を聞き取りながら、検討していきたい。